



令和8年度1回目の村有図書を 64冊購入しました！

今年度1回目となる「村有図書」に購入を行い、役場玄関横の「図書コーナー」の新着図書コーナーに配架しました。第174回直木賞候補作や2026本屋大賞ノミネート作品をはじめ、話題の作品が揃っています。どうぞ、役場の図書コーナーにお越しください。

(赤井川村教育委員会)

<北海道の本>

『タマと博士の縄文講座 アイヌ文様とコロポックルの謎を解く』 佐藤国男

『北海道の業界地図 2026-27』 北海道新聞社

『見えない壁 北方四島の記憶』 本間浩昭

<小説>

『青天』 若林正恭 (オードリー)

『暁星』 湊かなえ **2026本屋大賞5位**

『アフター・ユー』 一穂ミチ

『おまえレベルの話はしてない』 芹沢央

『家族』 葉真中顕 **第174回芥川賞候補作**

『彼女たちは楽園で遊ぶ』 町田そのこ

『ここにいるよ』 真山仁

『小麦畑できみが歌えば』 関かおる

『殺し屋の営業術』 野宮有 **2026本屋大賞6位・第71回江戸川乱歩賞**

『佐伯警部の推理 道警・函館方面本部』 佐々木譲

『さらば! 店長がバカすぎて』 早見和真 『しっぽのカルテ』 村山由佳

『たとえば孤独という名の嘘』 誉田哲也

『探偵小石は恋しない』 森バジル **2026本屋大賞8位**

『父の回数』 王谷昌

『ノイエ・ハイマート』 池澤夏樹

『百日と無限の夜』 谷崎由依 **第42回織田作之助賞受賞**

『夜明けのハントレス』 河崎秋子



<歴史・歴史小説>

『玉三郎の「風を得て」』 真山仁

『また会う日まで』 池澤夏樹

<ノンフィクション・ルポルタージュほか>

『勝手な夢を押しつける親を憎む優等生と、東大は無理とバカにされた学年ビリが現役合格した話』 坪田信貴

『記者がたどる戦争』 北海道新聞社 『自分は「底辺の人間」です』 京都新聞取材班

『令和ひとりカルト最前線』 真鍋厚

<エッセイ・芸能>

『シスターフットエンパシー』 ブレイディみかこ

『もうしばらくは早歩き』 くどうれいん 『わざわざ書くほどのことだ』 長瀬ほのか

<新書>

『A Iの倫理』 栗原聡 『夫が痴漢で逮捕されました』 斉藤章佳
『定年後の日本人は世界一の楽園を生きる』 佐藤優

<文庫・歴史文庫>

『ある愛の寓話』 村山由佳 『雨水』 今野敏
『英雄の条件』 本城雅人 『喫茶おじさん』 原田ひ香
『きときと夫婦旅』 柳月美智子 『キトラ・ボックス』 池澤夏樹
『台北アセット』 今野敏 『テミスの不確かな法廷』 直島翔
『デラシネ』 梶永正史 『旗本遊侠伝』 岡本さとる
『旗本遊侠伝 姫と賽』 岡本さとる 『ほどなく、お別れです』 長月天音
『ほどなく、お別れです それぞれの灯火』 長月天音
『ほどなく、お別れです 思い出の箱』 長月天音
『ほどなく、お別れです 遠くの空へ』 長月天音
『マカン・マラン』 古内一絵 『恋愛裁判』 深田晃司
『満月珈琲店の星詠み ～星遣いたちの夜～』 望月麻衣



<健康>

『認知症とはどのような病気か』 伊古田俊夫 学
『今さら聞けない睡眠の超基本』 柳沢正史

<その他>

『大谷バットはいくら? スポーツを支える道具とひとびとの物語』 熊崎敦
『すごい言い換え700語』 話題の達人倶楽部 『地方自治全史』 有馬晋作

<子ども向け図書> (健康支援センターにあります)

『おばけのマールとぶんぶんぶんがくかん』 ながいれい/けーたろう
『きつねの木』 石川えりこ
『これはもり ～ジョン・クラッセンのたのしいボードブック』 なかがわちひろ
『これはしま ～ジョン・クラッセンのたのしいボードブック』 なかがわちひろ
『これはのうじょう ～ジョン・クラッセンのたのしいボードブック』 なかがわちひろ
『デコピンのとくべつないちにち』 大谷翔平ほか
『普通のノウル』 イ・ヒヨン/山岸由佳
『ボクのいろ』 板垣李光人
『ポポときいろのたび』 アトリエポポ



◎購入を希望する書籍がありましたら、「村有図書貸出簿」の最後にある『購入希望欄』に書いてください。購入する際の参考にいたします。

◎この「図書コーナーだより」は、図書コーナーに置いてあります。ご自由にお持ちください。